

取扱説明書

ウォッチ

3585*JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この時計の特長

- ◆ ワールドタイム
- ◆ ストップウォッチ
- ◆ タイマー
- ◆ マルチアラーム（3本）・時報

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。



危険

死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

○記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について



ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどの粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠ 警告

スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない



本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

分解禁止

⚠ 注意

お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

–「注意」の続き –



電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| <u>この時計の特長</u> | 1 |
| <u>安全上のご注意</u> | 2 |
| <u>操作音について</u> | 7 |
| 操作音のオン / オフ設定 | 7 |
| <u>操作のしくみと表示の見方</u> | 8 |
| <u>ライト点灯について</u> | 10 |
| ボタンを押して点灯させる | 10 |
| ライト点灯時間の切り替え | 10 |
| <u>報音に合わせてライトを点滅させる</u> | 12 |
| オン / オフ設定 | 12 |
| <u>ワールドタイムの使い方</u> | 13 |
| 都市の選択 | 13 |
| サマータイム (DST) について | 13 |
| サマータイムの設定 | 13 |
| 都市コード一覧 | 14 |
| <u>ストップウォッチの使い方</u> | 15 |
| 計測のしかた | 15 |
| オートスタート機能 | 16 |
| <u>タイマーの使い方</u> | 17 |
| タイマー方法について | 17 |
| 電子音の報音について | 17 |
| タイマー時間・タイマー方法・予告音のセット | 18 |
| タイマー計測のしかた | 19 |
| <u>アラーム・時報の使い方</u> | 20 |
| アラームについて | 20 |
| アラーム時刻のセット | 20 |
| アラームのオン / オフ設定 | 21 |
| 鳴っている電子音を止めるには | 22 |
| モニターアラーム | 22 |
| 時報について | 22 |
| 時報のオン / オフ設定 | 22 |
| <u>時刻・日付の合わせ方</u> | 23 |
| 時刻・日付・時差のセット | 23 |
| 製品仕様 | 25 |
| ご使用上の注意 | 26 |
| お手入れについて | 29 |
| 電池交換について | 30 |
| 金属バンドの駒詰めについて | 30 |

操作音について

モード切り替え時などに鳴る操作音のオン / オフを切り替えることができます。

■ 操作音のオン / オフ設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも、

◎ ボタンを 3 秒以上押し続けます

- ➡ 確認音が鳴り、操作音のオン / オフが切り替わります。
- 操作音をオフにしているときは、MUTE マークが点灯します。
- ◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
- 操作音がオフでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音は鳴ります。

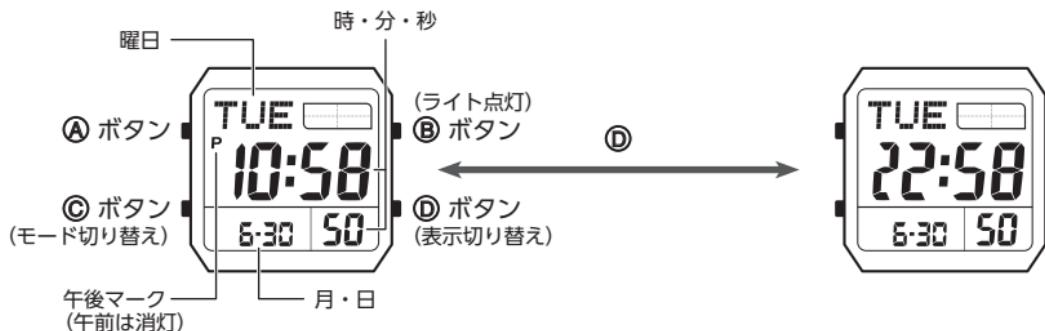


操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

- アラームモードで 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



★曜日の見方

SUN:日 MON:月 TUE:火
WED:水 THU:木 FRI:金
SAT:土

★12/24 時間制表示切り替え

時刻モードのとき、④ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。

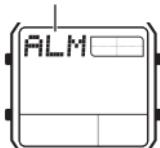
- アラームモードから時刻モードに切り替わるとき、モード名 “◆ HT” (HT = ホームタイム) が表示されてから、時刻が表示されます。

◎



アラームモード

モード名



アラーム番号

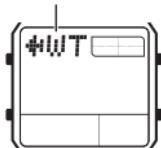


アラーム時刻 月・日

P-20

ワールドタイムモード

モード名



都市コード



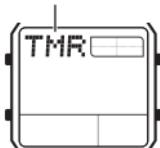
ワールドタイム

P-13



タイマーモード

モード名



アラーム番号



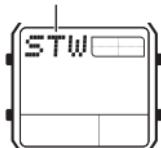
タイマー時間

P-17



ストップウォッチモード

モード名



アラーム番号



計測値

P-15

ライト点灯について

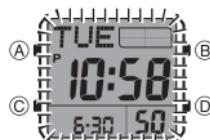
暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ボタンを押して点灯させる

「セット中（表示点滅）」以外の、どのモードのときでも、

② ボタンを押します

- 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（10 ページ参照）。



〈ライト点灯についてのご注意〉

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

■ ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます

- 「秒」が点滅します。
• セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 点灯時間を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

- Ⓑ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

- ❖ マーク = 約 1.5 秒間
- ※ マーク = 約 3 秒間



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

報音に合わせてライトを点滅させる

アラーム・時報、タイマーの予告・タイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音に連動して、ライトを点滅させることができます。

■ オン / オフ設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます

→「秒」が点滅します。

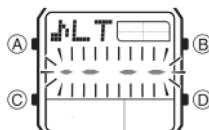
- ・セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「報音に合わせたライト点滅」設定 “♪LT” を選ぶ

Ⓑ ボタンを 8 回押します

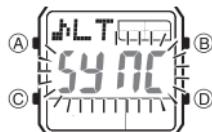
→“♪LT”が点灯し、“----”または“SY NC”が点滅します。



3. オン / オフを切り替える

Ⓓ ボタンを押します

→Ⓓ ボタンを押すごとにオン“SY NC”とオフ“----”が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

★ オンに設定しているときは、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードに切り替えると、1秒間 “SY NC” が表示されてから各モードの表示になります。

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を簡単に知ることができます。

- ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- 時刻モードで現在時刻および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
- 現在時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■ 都市の選択

ワールドタイムモードのとき、

① ボタンを押します

- ① ボタンを押すごとに「都市コード」が 1 つずつ進みます。
- ① ボタンを押し続けると早送りができます。



8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
① ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■ サマータイム(DST)について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

■ サマータイムの設定

- ワールドタイムモードのとき、① ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

① ボタンを 1 秒以上押し続けます

→ DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

- DST マークが点灯しているときに、① ボタンを 1 秒以上押し続けると通常の時刻に戻ります。

- 都市ごとにサマータイムの設定ができます。



■都市コード一覧

| コード | 時差 | 都市名 | コード | 時差 | 都市名 |
|-----|------|----------|-----|------|--------|
| PPG | -11 | パゴ/パゴ | IST | +2 | イスタンブル |
| HNL | -10 | ホノルル | CAL | +2 | カイロ |
| ANC | -9 | アンカレジ | JRS | +2 | エルサレム |
| YVR | -8 | バンクーバー | MOW | +3 | モスクワ |
| SFO | -8 | サンフランシスコ | JED | +3 | ジェッダ |
| LAX | -8 | ロサンゼルス | THR | +3.5 | テヘラン |
| DEN | -7 | デンバー | DXB | +4 | ドバイ |
| MEX | -6 | メキシコシティ | KBL | +4.5 | カブール |
| CHI | -6 | シカゴ | KHI | +5 | カラチ |
| MIA | -5 | マイアミ | MLE | +5 | マーレ |
| NYC | -5 | ニューヨーク | DEL | +5.5 | デリー |
| CCS | -4 | カラカス | DAC | +6 | ダッカ |
| YYT | -3.5 | セントジョンズ | RGN | +6.5 | ヤンゴン |
| RIO | -3 | リオデジャネイロ | BKK | +7 | バンコク |
| RAI | -1 | プライア | SIN | +8 | シンガポール |
| LIS | 0 | リスボン | HKG | +8 | 香港 |
| LON | 0 | ロンドン | BJS | +8 | 北京 |
| BCN | +1 | バルセロナ | SEL | +9 | ソウル |
| PAR | +1 | パリ | TYO | +9 | 東京 |
| MIL | +1 | ミラノ | ADL | +9.5 | アデレード |
| ROM | +1 | ローマ | GUM | +10 | グアム |
| BER | +1 | ベルリン | SYD | +10 | シドニー |
| ATH | +2 | アテネ | NOU | +11 | ヌーメア |
| JNB | +2 | ヨハネスブルグ | WLG | +12 | ウェリントン |

- この表は本機の都市コードの一覧です。
- この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。
- 各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

ストップウォッチの使い方

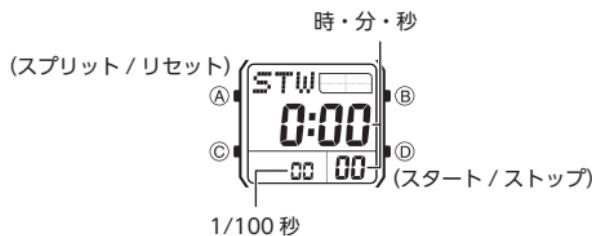
ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、計測がスタート / ストップします。



★ 計測ストップ後 ④ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

★ 計測中に他のモードに切り替えて、内部では計測を継続します。

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
④ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

● 通常計測



<積算計測>

ストップ後リセットせずに ④ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

計測中に ④ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります ("SPL" が点灯)。



- スプリット計測中に、他のモードに切り替えた後にストップウォッチモードに戻ったときは、スプリットタイム表示は解除されています。

● 1・2 着同時計測



■ オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

● オートスタート設定をする

計測リセット状態のとき、
Ⓐ ボタンを押します

→Ⓐ ボタンを押すごとに、
通常表示とオートスタート
表示が切り替わります。

<オートスタート表示>
カウントダウン秒数



● オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、Ⓓ ボタンを押します

→5秒前からカウントダウンを始めます。3秒前からは1
秒ごとに電子音が鳴ります。

- カウントダウンを中止してすぐにスタートさせたいときは、Ⓓ ボタンを押します。
- 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作
と同様になります。
- 計測を終了してリセットすると、オートスタート設定
も解除されます。

タイマーの使い方

タイマー時間は1分単位で24時間までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行います。

また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

- ・タイマー方法の選び方については18ページ参照。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、タイマー時間に戻り、計測ストップするまで自動的に繰り返し計測を行います。

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押して、タイマーモードにします。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

- ・予告音のオン／オフ設定については18ページ参照。

● 予告音オンに設定したときは

| | |
|---------------------|----------------|
| 残り時間 5分10秒～5分のとき | 1秒ごとに電子音が鳴ります。 |
| 残り時間 4分～1分のとき | 1分ごとに電子音が鳴ります。 |
| 残り時間 30秒 | 電子音が1秒鳴ります。 |
| 残り時間 10秒～0秒（タイムアップ） | 1秒ごとに電子音が鳴ります。 |

- ・セットした時間が5分以下のときは途中から鳴ります。

● 予告音オフに設定したときは

セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

- ・電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマー時間・タイマー方法・ 予告音のセット

準備：タイマー計測中の場合は、④ボタンを押して計測をストップしてから①ボタンを押して計測時間をリセットします。

タイマー計測がストップしている場合は、①ボタンを押して計測時間をリセットします。

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

①ボタンを1秒以上押し
続けます

→タイマー時間の「時」が
点滅します。

- セッタ状態で2～3分間
何も操作を行わないと、自
動的にセット状態が解除
されます。

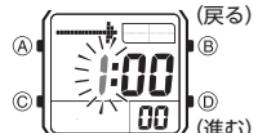


2. 「時」をセットする

④または②ボタンを押
します

→④ボタンを押すごとに1
つずつ進み、②ボタンを
押すごとに戻ります。

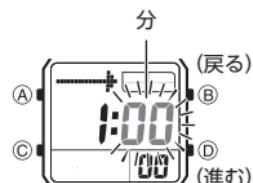
- ④・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- 1分単位で24時間までセットできます。
- 24時間をセットするときは、表示を“0:00”にします。



3. 「分」をセットする

②ボタンを押します

→「分」が点滅します。「分」
も「時」と同様に④または
②ボタンでセットしま
す。

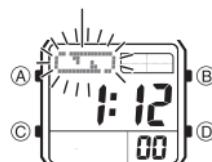


4. タイマー方法を切り替える

- Ⓐ ボタンを押してから、
- Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓛ ボタンを押すごとにリピートタイマー “” とオートリピートタイマー “” が切り替わります。

オートリピートマーク



5. 予告音のオン / オフを切り替える

- Ⓐ ボタンを押してから、
- Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓛ ボタンを押すごとにオン / オフが切り替わります。

- ♪ ON = 予告音オン
- ♪ OFF = 予告音オフ



6. セットを終わる

- Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマー計測のしかた

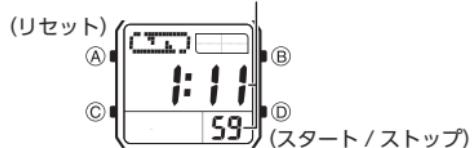
タイマーモードのとき、

- Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓛ ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします。

- 1秒単位で計測を行います。

時・分・秒



★ 計測ストップ後 Ⓛ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。

★ Ⓛ ボタンでストップ後もう一度 Ⓛ ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL2)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

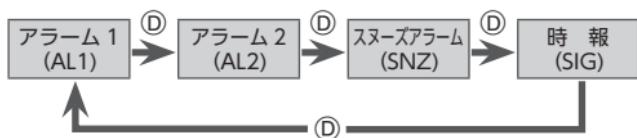
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

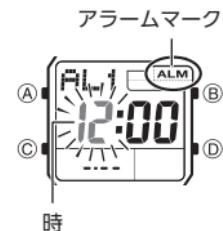


2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます

→ 「時」が点滅します。

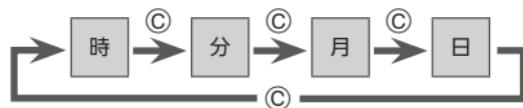
- アラームマークが点灯して、自動的にアラームオンになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。
- セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセッターフレッシュが解除されます。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

→ ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

⑩または⑪ボタンを押します

- ➡ ⑩ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑪ボタンを押すごとに戻ります。
- ・⑩・⑪ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ・「月」や「日」をセットしないときは、“-”または“--”を表示させます。
- ・「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
- ・現在時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。
- ・「時・分」に加えて、「月」や「日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。
 - 毎日鳴らす→「時・分」のみセット
 - 指定月に毎日鳴らす→「月・時・分」のみセット
 - 每月同じ日に鳴らす→「日・時・分」のみセット
 - 指定月日に鳴らす→「月・日・時・分」すべてセット



■ アラームのオン / オフ設定

準備：アラームモードのとき、⑩ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。

⑩ボタンを押します

➡ ⑩ボタンを押すごとに、アラームのオン / オフが切り替わります。

- アラームマークが点灯しているときがオンとなり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>

アラームマーク



<スヌーズアラーム表示>

アラームマーク



スヌーズマーク

5. セットを終わる

⑩ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
- スヌーズアラーム機能中に以下の操作を行うと、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。
 - スヌーズアラームをオフに切り替えたとき。
 - スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
 - 時刻モードでセット状態にしたとき。

■モニターアラーム

アラームモードのとき ④ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■時報について

毎正時（00分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■時報のオン / オフ設定

準備：アラームモードのとき、④ ボタンを押して、時報表示を選びます。

④ ボタンを押します

- ④ ボタンを押すごとに、時報のオン / オフが切り替えられます。
- 時報マークが点灯しているときがオンとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>

時報マーク



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

■ 時刻・日付・時差のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを1秒以上押し
続けます

→「秒」が点滅します。

- ・セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

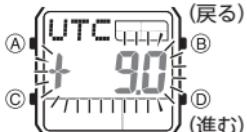


- ### 2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正
- 時報に合わせて Ⓢ ボタン
を押します
- 「00秒」からスタートします。
- ・秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
-
- ### 3. サマータイム(DST)のオン／オフを切り替える
- Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します
- Ⓢ ボタンを押すごとにオン／オフが切り替わります。
- ・OFF =スタンダードタイム(通常時間)
ON =サマータイム(夏時間)
 - ・サマータイム(DST)については13ページ参照。
-
- 23

4. 「時計を使用する地域の時刻（ホームタイム）」と「協定世界時（UTC）」との時差を設定する

- ④ ボタンを押してから、
⑤ または ⑥ ボタンを押
します

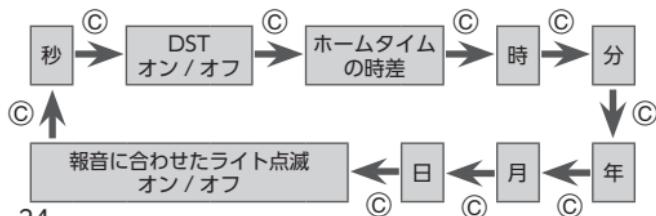
- ④ボタンを押すごとに「時差」が0.5時間ずつ進み、⑤ボタンを押すごとに戻ります。
 - ④・⑤ボタンとも、押し続けると早送りができます。
 - 時差を設定してから、時刻セットを行ってください。
 - UTCとの時差については14ページ参照。



5. 「時刻・日付」合わせ

a. © ボタンを押します

- ④ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. ⑩ または ⑪ ボタンを押します

- ① ボタンを押すごとに 1
つずつ進み、② ボタンを
押すごとに戻ります。

 - ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。
 - 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
 - 「年」は 2000 年～2099 年の範囲内でセットできます。「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しくセットしてください。
 - カレンダーはうるう年、大の月および小の月を判別するフルオートカレンダーです。

① (戻る)
② (進む)



6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

- 虚滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

| | |
|--|---|
| 精度：平均月差±30秒 | アラーム機能：マルチアラーム アラーム本数 3本 (うち、スヌーズ1本) |
| 基本機能：時・分・秒、 午前/午後(P)/24時間制表示、 月・日・曜日、 フルオートカレンダー (2000～2099年) | セット単位 月・日・時・分 アラーム報音時間 10秒間 時報 毎正時に電子音で報知 |
| ワールドタイム機能：世界29タイムゾーン(48都市)の時刻を表示、サマータイム設定 | その他：12/24時間制表示切り替え、 モニターアラーム、 LEDバックライト、 報音に合わせたライト点滅、 操作音オン/オフ切り替え |
| ストップウォッチ機能：計測単位 1/100秒 計測範囲 23時間59分59秒99 (24時間計) 計測機能 通常計測、 スプリット計測、 1・2着同時計測、 オートスタート機能 | 使用電池：CR2032 1個(電池別途販売) 公称電圧 3V |
| タイマー機能：セット単位 1分 計測単位 1秒 計測範囲 24時間 リピートタイマー/オートリピートタイマー切り替え、予告音オン/オフ切り替え | 電池寿命：約10年 (1日あたりライトを1.5秒間、電子音を10秒間使用した場合) |

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| 表示 | 時計の表面または裏ぶたに表記 | 日常生活用強化防水 | | |
|-----|-------------------|-----------|------------|------------|
| | | 5気圧 防水 | 10気圧 防水 | 20気圧 防水 |
| 使用例 | 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ |
| | 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ |
| | ウインドサーフィン | × | × | ○ |
| | スキンダイビング (素潜り) | × | × | ○ |

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - ・「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - ・入浴のときには使用すること
 - ・温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - ・時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするとときに、石鹼や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがあります。すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。

なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常に手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0°C以下や+40°C以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることができますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることができますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。

- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リューズやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リューズや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなど異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つたり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「修理に関するお問い合わせ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)

